



きりんぐみだより

7月

2018年7月2日 保土ヶ谷保育園

きりん組担任

最近の子どもたちの様子

きりん組は梅雨の時期でも元気一杯！

今月も朝から園庭で鉄棒・サッカー・砂遊び・ごっこ遊びとお気に入りの遊びを楽しんでいます。遊びを楽しみながら色々な発見をする子どもたち。「きゅうりが大きくなった！」「向日葵咲いたね！」「じゃが芋食べられるんじゃない？」など保育園にある植物などを良く観察していることが分かります。

また室内での遊びも充実しており、様々な素材を利用して素敵な作品をたくさん作りそれを使った遊びを楽しむ姿が見られます。食事などの生活面では、バイキング形式の食事スタイルにも慣れ、よそい方も上手になって来ています。また歯磨きや衣類を畳むなども丁寧に行える子どもが増えてきました。

《うどんづくり》 6月に入りエプロンをつけての本格的なクッキングを行ないました。いままでクッキー作りなどは体験してきた子どもたちですが、うどんの材料には何が使われているか、どのように作るのか知らない子どもがほとんどでした。中には、うどんは始めからつるつるした紐の形をしていると思っていた子もいました。そこで、まずは保育士がうどん作りを子どもたちの前でやって見ることに！すると思っていた以上に興味深々！うどんの生地を切る工程を真剣なまなざしで見っていました。そこから自分たちでうどんを作ることへの期待が膨らみ、当日を楽しみにしている子が多かったように感じます。

当日は3つのグループに分かれてうどん作りがはじまりました。水・小麦粉・塩を入れて混ぜる工程では各グループでリーダーを決めると指示を出してくれていました。指示を出し過ぎで自分が1回しか混ぜなかった・・・と後々声を掛けてくる姿も見られましたが・・・。

そして、一番楽しそうな表情で取り組んだ工程が生地を踏む工程でした。

グループ毎に「〇〇回踏んだら交代しようか・・・」と相談、大きな声で数を数えながら次第に弾力のある生地に仕上がっていました。

いよいよ食べる日がやってきた！ 1日寝かした生地を翌日大人が伸ばして、切って・・・という作業を行う予定でしたが、子どもたちから「くるくる伸ばしたい」と言うリクエストがあったので急遽お願いすることになりました。順番に体重を掛けながら生地を伸ばしていきます。それぞれ感じるものがあって、「柔らかくなってきた」「気持ちいい」と生地に触れた感想を声に出す子どもたちでした。そして昼食時間に出てきた手作りうどん！「いつも食べているうどんより固い」（←大人はこしがあっておいしい！という表現になりますね。）と言いながらあっという間に間食。給食の先生もまさか全部食べるとは思ってなかった・・・と言う量だったので驚いていました。

《じゃがいも収穫！》 ぱんだ組の時に植えたじゃが芋の種イモが大きくなり、沢山のじゃが芋を付けました。きりん組になってからも水をやってこの日を楽しみにしていました。そしていよいよじゃが芋掘りの日がやってきました。シャベル片手に畑の周りに集まった子どもたち！少し掘れば小さなじゃが芋がゴロゴロ出てきました。中には中くらいのじゃが芋が出てきましたが、小さいじゃが芋が多かったので、中くらいのじゃが芋でも子どもたちにとっては大きなじゃが芋！「すげー大きいの出た！」と大喜びをしながら最後いくつ掘れたか数えてみると・・・「191個」のじゃが芋を収穫することができました。

数日後・・・いよいよじゃが芋を食べる日がやってきました。「どうやって食べる？」と聞くと「じゃがりこ」との返答があり栄養士に頼みに行くと、できないとの事・・・そこで色々な味のソースを作って食べることにしました。①カレーマヨネーズ②ツナマヨネーズ③青のりマヨネーズ。この3つのソースを付けて食べると、「はっぴーたんの味がする」「カレーが美味しい」と様々な意見と共にすぐに完売となりました。次はきゅうりやトマトが収穫の時期を迎えます。

7月の保育

- 夏の健康的な過ごし方を身に付ける
- 夏の遊びを楽しみながら、友だちや異年齢児との関わりを深める。
- 夏の自然事象や植物等の成長に興味関心をもつ。
- 様々な素材や道具を使い、考えたり試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。

※7月はスイカを買いに行き、きりん組でスイカ割大会を開催します！

※7月より昼食の白米を毎朝当番が研ぎ自分たちで炊飯器で炊いて食べます。